

平成27年度市町老連会長研修会

ワークショップまとめ

●全体会～これからの市町老人クラブの取り組みを考えてみよう！～

現在の老人クラブを取り組む課題を下記の①～⑥に整理し、グループ毎に課題を解決するための取組を模索しました。

① 担い手の育成

- ・単老の会長を任期制や順番性（会計⇒副会長⇒会長など）にする
- ・若手に準備期間を得て担い手になってもらう
- ・役の負担や煩雑な事務を軽減
- ・目標を設定し、女性の会長・役員を育成
- ・新入会員を増やす

② 他団体との連携

- ・他団体、他市町、他世代との交流
- ・他団体等との行事に積極的に参加
- ・ネットワーク（ワーキングネット：目的のために人を集める）を構築する

③ 積極的な地域貢献活動

- ・地域への奉仕、地域の活性化（祭り等への参加・協力など）、安心・安全な地域づくり（見守り活動）、次世代の健全な育成（米作りを教えるなどの伝承活動）
- ・地域貢献活動による担い手の育成と女性の勧誘
- ・会長が前向きな姿勢を見せる

④ 会員の増強

- ・行政にバックアップを依頼（市長さんなどにも会員になってもらい活動の理解をしてもらおう）
- ・クラブの魅力づくり（ダイヤモンド婚のお祝いなど独自の活動を取り入れてみよう）
- ・広報の充実（自治会と情報を共有）
- ・役員の充実

⑤ 効果的な広報

- ・会員への広報（クラブ通信などで活動を周知）
- ・一般市民への広報（クラブ活動を知ってもらおう）

⑥ 魅力ある活動

- ・会員の趣味などのニーズの調査
- ・現在の活動の見直し
- ・スタッフの能力の見直し（能力を強化しよう）
- ・会員でない人に魅力を伝える体験事業
- ・活動中のPR（奉仕作業中やウォーキング中にのぼりを立て、活動をアピール）

●ふりかえりシート『これから実行しようとしたこと』より（抜粋）

- ・会員は何を望んでいるのかのアンケート
- ・入会勧誘パンフレットを作成したい
- ・新しい創意工夫したリーダーシップを発揮したい
- ・色々な情報の収集
- ・地区や各単老連の実情を見聞していきたい
- ・毎年やっている行事の中で、少しずつでも新しいアイデアを取り入れていきたい
- ・必ず立ち止まって、間違いがないか確認すること
- ・役員だけでなく、会員自身の力、思いを生かして実現していきたい。
- ・楽しく、多くの会員とふれあいを大切にしたクラブづくり
- ・会員の希望するサークルのアンケート調査を実施し、サークル活動の数を増加させる
- ・自分のリーダーとしての自己点検を十分に実行していきたい
- ・校区連合会の活動の再確認と新しい事業の展開
- ・マンネリ化している事業の見直し